



新年のごあいさつ



蒲郡市長
金原久雄

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

一昨年の市長選挙に際し、私はマニフェストを掲げ、この1年その達成を目指し、市政を推進してまいりました。その結果、市民の皆様にお約束した45施策のうち「障害者支援センターの充実」など、14施策が「概ね達成できた」または「実施中であり、ほぼ達成できる見込み」となりました。第3期目に就任して1年が過ぎましたが、まずまずのスタートが切れ、おおむね80点はいっているかなと自己評価しております。詳しい内容につきましては、広報がまごおり12月号を始め、市のホームページ内の「市長の部屋」において公開しておりますので、ぜひ、ご覧いただきたいと思っております。

さて、昨年のアメリカのサブプライムローンに端を発した金融危機の影響で、日本経済も深刻な状況となっております。トヨタ自動車の売り上げも減少し、愛知県に暗い影を落としています。愛知県の来年度の税収が今年度と比べ2,700億円減少という話も新聞紙上に載っております。当市も少なからず影響を受け、厳しい財政状況になると思っておりますが、行財政改革を進めるとともにメリハリのきいた市政を進めてまいりたいと考えております。

今年は、マニフェストの残り31施策の達成を目指し、中でも特に市民病院の医師確保の問題につきましては、市民の皆様とともに全力を尽くしてまいります。幸いにも、今年の2月に消化器内科の先生が来て頂けることになりました。

また、名鉄西尾・蒲郡線の存続問題は、市民の皆様にも大きな影響を及ぼしますので、維持存続に向けて検討してまいりたいと思っております。

その他にも、産業振興として、農業・漁業者への省エネ対策費、商工関係では中小企業向け融資資金の保証料補助事業を、市民サービスの向上として、総合窓口の導入、形原公民館および新消防庁舎の建設を進めてまいります。

本年も、市民の声を大切に、「真の自立できる蒲郡」を目指して市政運営に邁進してまいります。変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。